



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2019. 2. 25

No.2303 No.25

Rotary



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長

田代 徳太郎

Tokutaro Tashiro

皆さん、こんにちは。25 回目の例会です。

本日は三条市長の國定勇人様がお見えになっております。三条市のまちづくりについてお話をいただけます。どうぞゆっくりとお過ごしてください。

さて、きょうはウイスキーのお話をします。日本はウイスキー・ブームの再来でここ数年いろいろな話題があります。国産の高級なウイスキーは品薄となっており、販売を中止した銘柄がいくつかあります。日本のウイスキーは美味しく、国際的な権威のある賞をいくつも受賞しています。海外からの訪日外国人がお土産に買っていくことも品薄の一因でしょう。

ウイスキー・ブーム再来のきっかけの一番大きな要因は、多分サントリーの仕掛けたハイボールのTVコマーシャルでしょう。女性たちがハイボールを飲むきっかけを作りました。つられてか男性も飲みます。

世界の5大ウイスキーと言われる産地があります。スコッチ・ウイスキー、アイルリッシュ・ウイスキー、カナディアン・ウイスキー、アメリカン・ウイスキー、そして日本のジャパニーズ・ウイスキーです。他4つの産地がアングロサクソンの国である中、日本のウイスキーは国際評価が高いのです。

そんな中、1年少し前の一昨年暮れに「おやっ」と思う新聞記事の見出しに目がとまりました。インドのウイスキーを輸入するという記事でした。そしてインドがウイスキーの世界最大の消費国であることが記載されていました。そのどちらも私にとって意外でした。もう少し読むと、食品大手の「国分」がインドのウイスキーを輸入、10年前から世界で一番ウイスキーが飲まれているのがインドだという。インドで生産されるウイスキーはほとんどが国内消費され、インドの年間消費量は米国の3倍以上、とのことでした。

考えてみれば、インドは英領の植民地でした。ウイスキー文化はその時代にインドに入っています。インドは公共の場での飲酒や、アルコールの広告は禁止されており、販売場所も限定されているそうです。インドが経済力をつけて豊かになり、ウイスキーをたしなむ人が増えて、人口10億を数えるともなれば、ウイスキーの消費量が多くなるのも自然な成り行きかと思いました。

インターネットのある記事によれば、投稿者がウイスキーを専門に扱うスコットランドのバーで店のメニューをパラパラとめくっていたら、5大産地ではない「インド」の文字が飛び込んできたとのことでした。また別の記事では、「5大ウイ

ロータリーに 参加して 楽しもう

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

Rotary



インスピレーションに なるう

国際ロータリー会長 バリー・ラシン [バハマ]
 第2560地区ガバナー 川瀬 康裕 [三条]
 第4分区ガバナー補佐 久住 勲夫 [分水]
 会長 田代 徳太郎
 幹事 永桶 俊一
 S A A 石山 昌宏

事務局
 〒955-8666 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店 内
 TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095
 E-mail info@sanjo-minami.jp
 U R L http://www.sanjo-minami.jp

スキーを脅かすニューワールド・ウイスキー」という見出しで、インドと並び台湾のウイスキーに触れていました。ワインやスピリッツの国際的コンペで金賞を受賞、他にも多くの受賞歴があり、台湾ウイスキーの質の高さは世界のお墨付きだそうです。いずれ三条のお店でも、インドや台湾のウイスキーのブランドを目にする時代が来るかもしれません。

きょうはウイスキーのお話でした。会長挨拶を終わります。

出席者	48名中30名	先々週の出席率	72.73% (2/4)
ゲスト	三条市長 国定 勇人 様		
先週のメイクアップ	2/20 三条市共同募金委員会運営委員会議へ	荒澤威彦君	
	2/21 加茂ロータリークラブへ	佐々木常行君	



幹事報告



永桶 俊一 幹事

◆大谷ガバナー事務所より「2019-20年度地区研修・協議会」開催のご案内

2019年5月11日(土) 10:00~ 於:デュオ・セレッソ(上越市)

※出席義務者にご案内を配布しました。

やむを得ず欠席の場合は、委員会内で代理の決定をお願いします。

◆巻ロータリークラブより「創立30周年記念式典・祝賀会」のご案内

2019年6月8日(土) 13:30~ 於:福寿温泉じよんのび館(西蒲区)

※出席予定:田代徳太郎 永桶俊一 石山昌宏 木村 譲 加藤一芳



ニコニコボックス



2月25日 ¥22,000

今年度累計 ¥451,000

Niko
Niko
Box!

田代君 本日は三条市長国定勇人様にお越しいただきました。三条市のお話をお聞かせくださいます。宜しくお願いします。

永桶君 気温も上がり、温かくなって過ごしやすくなってきました。花粉が飛んでこないことを祈っている毎日です。

馬場君 国定勇人三条市長さんをご歓迎申し上げます。ご健康に留意されて市民の幸福のために頑張ってください。

坪井君 良い天気が2~3日続きますと、春が来たような気がします。安心していてもうひと荒れあるんでしょうかねえ。市長さん、本日はご苦労様です。よろしくお祈りします。

坂井君、鈴木君、西潟君、野島君

三条市長国定勇人様、卓話ありがとうございます。宜しくお願い致します。

佐藤君 妻の死去に際し、何かと心遣い戴きありがとうございました。

休むことが多くなると思います。

忘れられてしまうかな……?

坂本君 BOXに協力いたします。

銅冶君 BOXに御協力ありがとうございました。

例会変更のお知らせ: 三条東RC 移動例会 3月7日(木) (三条ロイヤルホテルで記帳できます)

三条南RC 今後の予定

3月11日(月)「水と衛生月間」 三条管工事業協同組合 専務理事 堤 孝昭 様

3月18日(月) クラブ休会



卓 話

「三条市のまちづくり」

三条市長 國定 勇人 様



「三条市のまちづくり」について、お話をさせていただく前に、三条南ロータリークラブの皆さまにお願いしたいことを申し上げます。

三条市では各公園の整備改修を順次進めています。近ごろ地元新聞投稿欄で話題になっている「トリムの森」に関しても、次年度改修を手掛けることを決めています。この機会に八幡公園の整備にも着手する予定です。

神社と都市公園が密着隣接していて市民からは範囲の区別ができないという珍しい形態の公園ですが、まちの真ん中、三条のシンボルである八幡宮は年中行事の場・市民の憩いの場であり、装いをしっかりとしておく必要があります。しかしながら行政からは最小限の予算を付すにと

どめたいのです。というのは、行政主導では市民が『自分たちのもの』という意識にならないのではないかと思うからです。市民の力を借りて、多くの方の善意で行うべきものと考えます。

社殿西側の弁天池は水の出入りがない構造で水質が非常に悪くなっています。近頃人気のTV番組を誘致して、池の水を抜いて清掃・外来種生物駆除をするのはどうかと八幡様にお伺いを立てたところ「外来種とて同じ命。」とのご回答でした。やはり、八幡公園は自分たちのもの、三条市民の手で、皆様の善意できれいな環境にして在来種も外来種も分け隔てなく戻してあげたい、ということです。ほかに、トイレの改修、遊具の一新、弥彦線高架下側からのアクセスを向上した空間構成などを施し、真の意味での憩いの場として形成したいと考えています。

地域貢献にご理解のある三条南RC様には、この中のひとつでも、単独が困難ならば市内4RC様と一緒に、大いなる善意をご検討宜しくお願いします。

さて、本題の「三条市のまちづくり」について、高校生向けに作った資料からお話をしていきます。というのは、やがて市外に行ってしまう子どもたちが、自分たちのまちのことを知っていれば、ゆくゆくは三条に戻ることを選択肢の一つにできるからです。昨年から高校生向けに自分たちのまちの強みについてお話をする機会を頂戴しています。よく知っていることではありますが、何気なく生活していると忘れがちであることでもありますので、こちらからお話をしていきます。

金属加工を中心とする「ものづくりのまち」三条（燕三条）。1990年代から世界の工場という位置付けが中国、更には東南アジア、南アジアへとシフトしていき、日本の金属加工3大産地のうちの2つ、東京大田区と東大阪市が淘汰される側に回っているにもかかわらず、当地は横ばいから微増の傾向を保っています。現時点で大田区を絶対額で上回りました。長いトレンドグラフを見ると東大阪市もじわじわと落ち込んできています。いずれ燕三条地域が浮上していくことができれば、東大阪市と競り合うくらいの実力を、かつてない形の中で手に入れることができるのだ、と高校生に話しています。そして、これからも「ものづくり」の実力を発揮していくためには人手が足りないのです、皆さんからはちゃんと燕三条に戻ってきていただき、重要な担い手として活躍してもらわないと困るのです、と紹介するわけです。

また、上場企業の数から見ていきますと、現時点上場している三条市に本社を置いている企業は、アークランドサカモト、スノーピーク、コロナ、オーシャンシステムの4社です。三条機械製作所は戦略的にあえて上場廃止しました。加えて、三条が創業地であるコメリ、ツインバード、ダイニチもあります。そうした点では、三条市は本当に稀有な存在であるということに改めて実感するべきです。実は、島根・徳島・佐賀・長崎の4県の上場企業総数よりも三条市の方が多いのです。10万人都市で4社、三条が発祥の企業を含めると7~8社も上場企業があるということ、まちの実力としてもっと誇りに思うべきです。市外に出て、自分たちのまちがどんなまちかと聞かれたときに、この話題を出してもいいのではないのでしょうか。稀有な優位性はこの事実をもって説明ができると思います。

絶対数だけでなく、人口1人当たりの上場企業の密度について47都道府県の数値と三条市とを比較すると、東京都、大阪府に次いで三条市は3番目になります。驚くべきは三条市の次が愛知県であるということです。愛知県というトヨタ自動車を有するものづくり大県でさえ粗密さでいうと三条の方が上回っています。その次の京都府も任天堂、島津製作所、京セラなど世界のニッチトップ、いわゆる京都企業が揃う上場企業の宝庫ですが、三条の方が密度が濃い。これほどの実力を持っていることを私たちは正々堂々と評価してもいいのではないかと。主観的に「自分たちのまちはものづくりのまちだ」とただ叫んでいるだけではなく、このように客観的に見ても優れた企業が人口10万人という限られた地域に多く集積しているのだということ、もっと誇りをもって対外的に喧伝してもいいと思っています。

燕三条の底力の例を示していきます。豪華クルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」が東三条駅に停車しますが、贅の粋を尽くした四季島の内装にも我々の地域から随分採用されています。門柱の照明、カップホルダー、花器、テーブル照明、ティッシュボックス、栓抜き、靴ペラ、カトラリー、こういったものは燕三条からセレクトされて実際に活用されています。JR もただ単に燕三条があるからといって安易に採用しては1,425,000円もお金を払っている乗客に説明しえないので、厳正な評価をした結果のことです。これだけのアイテムを我々の地域から輩出しているということは、もっと前向きに捉えてもいいと思いますし、私はここまで採用されていることは知りませんでしたから、こうした事実を皆様と共有できればと思います。

2010年横浜開催のAPECでは各国政府首脳への公式贈答品として燕市の磨き屋シンジケート製ビアカップが、ノーベル賞授賞式晩餐会では山崎金属のカトラリーが採用されていることは周知されています。三条市には別の分野でも誇るべき産業が保内にあります。「夢の国」東京ディズニーシーに植えられている植栽は保内の方々の指導によるとのことです。また、戊辰戦争最後の激戦地になった五稜郭には中に入るとかなり手の込んだ庭園がありますが、そこも保内の職人さんが指導しているそうです。職人といえば、将棋駒の名工大竹日出男さんとのご縁で竜王戦が三条で開催されて注目が集まりました。

そういう側面にも、知らず知らずのうちに「ものづくり」だけではなく、かなり主要な部分に三条の方々の技術が訴求しているということが表されています。こうした一つ一つが積み重なって、技術力、製品が国内はもちろん、国外にも出始めていますし、「ものづくり」というブランド性がようやく海外に認知され始め、昨年はその象徴的な出来事がありました。それが「ジャパン・ハウス ロンドン」です。

ジャパン・ハウスというのは、来年2020年の東京オリンピック・パラリンピックに合わせて、外務省がロサンゼルス、サンパウロ、ロンドンの3拠点に日本の魅力をPRする常設施設として昨年設けたものです。そのうちのひとつジャパン・ハウス ロンドンにおいて、日本を紹介する最初の企画展に奈良でも京都でなく、私たちの燕三条地域を選んでいただきました。大変誇らしく思っているのは、最初の企画展だったということもあり、ウィリアム王子が自ら足を運んでいただいて、私たちの製品に手を触れて、私たちの地元の唯一の酒蔵であります福顔酒造の日本酒で乾杯をしていただいたことです。普通のまちではできないことを、いとも簡単に乗り越えてしまったと思います。2か月間の企画展中、2万5千人の方に来場していただきました。

どうして燕三条が選ばれたのか。世界のファッションや流行の中心地に在り続けている都市ロンドン。このジャパン・ハウス ロンドンは、企画の全てをロンドン人チームにプロデュースしてもらっているという点が特徴です。そのチームが私たちを選んだわけですが、その最大のポイントが「燕三条工場の祭典」でした。工場の祭典を見に来られたロンドン人チームがとても感動して、企画展の第1弾に私たちの地域を選んで下さったというのが成功のストーリーになったわけです。「燕三条工場の祭典」そのものも、海外からも評価されるようになってきています。理由は、世界3大デザイン賞のひとつ「レッド・ドット・デザイン賞」を受賞したことによります。製品一つ一つをとれば燕三条地域内にも受賞している企業がいくつかあるわけですが、イベントそのものが受賞するというのは珍しいのです。このように、世界的な目線で見たとくにも「燕三条工場の祭典」というのは評価されるべき存在だと認知されています。

今、地方都市の時代、中小企業の時代が到来しています。どちらも負け組ではありません。ヨーロッパにはそうした道をずっと突き進んできている企業があります。ドイツでいうと、アディダス・プーマ兄弟の本社は人口が2万3千人のまちにあります。イタリアでは、フェラーリ本社が1万7千人、ランボルギーニは7千人のまち、フランスのシャネルは6万1千人、バカラは5千人のまちです。シャブリは2千人、ロマネ・コンティに至っては4百人の村に本社があります。彼らは会社が成長し、ブランド力が上がったとしても自らが育ったところに居を構え続けて、自分たちの価値を維持し続けているわけです。これらの企業の名前を知らない日本人はいないでしょうが、それらは皆三条市よりはるかに小さいまちに所在して世界に対して強気に販売を実行しているのです。そのようなことが彼らにできて我々にできない理由はありません。三条市はもっと可能性を秘めたまちだと信じておりますし、行政の立場からそこで頑張ろうとされる皆様に積極的に応援してまいりたいと思っていますところでは。

3月のお祝い



◆ 会員誕生	4日	桑原朋子さん	25日	齋藤嘉一君
◆ 夫人誕生	4日	田代恵美子（徳太郎）さん	4日	田中陽子（康之）さん
	5日	平松貴子（修之）さん	18日	広岡頼子（豊樹）さん
	31日	西巻富紗（克郎）さん		
◆ 結婚記念	3日	長谷美津明・美香さん	18日	広岡豊樹・頼子さん
	21日	木村 譲・久美子さん	21日	坪井正康・恭子さん
	28日	渡邊 光郎・ノリさん		

おめでとうございます

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club 2019. 2.25 No.2303 No.25